

公益財団法人畑崎財団
平成28年度 事業計画書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

■公益目的事業について

事業番号	事業の内容	事業比率
公1	最先端の医療の研究及び開発事業	83.2%

事業費 51,740,000 円

【趣旨】

わが国が、いま成熟した長寿社会に移行しつつあるなかにあつて、ファッションブルエーシング（年を重ねても明るく健康で内面も充実した生き方）を目指し、スマートでファッションブル（元気で気持ちも前向きで、それが装いや行動にあらわれ活動できる）に明るく健康な社会づくりに貢献するため、健康づくりに関わりのある最先端の医療の研究、開発を行い、その内容を広く発信する。

【事業内容】

設立初年度から継続した当財団の研究資金提供により、当財団主導による公益財団法人先端医療振興財団とファースト・ステムセル・ジャパン株式会社との連携による再生医療の共同研究で蓄積した研究成果をもとに、昨年度から引き続き兵庫医科大学とファースト・ステムセル・ジャパン株式会社との早期の臨床応用に向けて共同研究を実施する。

1 研究題目

脂肪幹細胞移植による脳梗塞治療法の開発

2 研究目的

ヒト脂肪組織由来幹細胞（Adipose-derived stem cell：ADSC）移植による脳梗塞治療を臨床応用するために、その至適条件決定と安全性確認を行うことを目的とする。

3 研究内容

(1) 臨床応用のための脂肪幹細胞の分離培養法確立

血清、無血清培養ともに、脂肪幹細胞の培養は安定しており、静脈内投与において必要となる細胞数の確保が可能なことや、細胞マーカーにより間葉系幹細胞の培養を確認できたことに基づき、現在 GMP 基準に準拠するため、血清培養では培養条件として低酸素培養による細胞培養効率評価を行う。無血清培養では分離時に使用する酵素（リベラーゼ）の検討を行う。今後は脂肪幹細胞の純度試験、分化試験を実施し、脂肪幹細胞の相同性の確認を行い、更には CPC での分離培養を開始する。

(2) ヒトへの脂肪幹細胞移植に関してPMDAを訪問

ヒトへの脂肪幹細胞移植に関して、医師主導治験を実施する際にPMDA側から要求されるデータ、堅守すべき事項等に基づき研究を進め、今後も定期的にPMDAに訪問し、面談を行う。

(3) 臨床応用のための準備実験

臨床応用を念頭に置くと、細胞の凍結解凍処理が必要となるため、凍結解凍に伴う細胞への影響の検討を行っており、脳梗塞モデルマウスに対して、今後静脈投与を行い、運動機能評価、組織学的評価を行う。

(4) 骨髄単核球細胞のヒトへの投与試験

脂肪幹細胞投与臨床試験に先立って、すでに臨床応用の行われている骨髄単核球細胞の臨床投与試験を兵庫医科大学病院にて実施し、細胞治療の臨床応用における当院での実績を確立する。

4 研究分担

当財団

研究全般における統括、調整

兵庫医科大学

脂肪幹細胞の分離培養、臨床応用、CPCにおける調整、細胞移植実施
ファースト・ステムセル・ジャパン株式会社

脂肪幹細胞の分離培養、脂肪幹細胞移植に関する基礎研究

5 研究実施場所

兵庫医科大学病院内、ファースト・ステムセル・ジャパン株式会社、公益財団法人畑崎財団

6 研究スケジュール

平成 27-28 年度に培養条件を決定し、平成 29 年度に臨床応用を開始する。

事業番号	事業の内容	事業比率
公 2	地域活動表彰事業	7.5%

事業費 4,500,000 円

【趣旨】

畑崎ファッションブルエージング賞（以下、畑崎賞という）は、ファッションブルエージング（年を重ねても明るく健康で内面が充実した生き方）を実現するため、有意義な地域活動を行う個人又は団体を顕彰する。

○対象者

(1) 健康づくり分野 (Health)

健康増進、リハビリ、スポーツ等の分野

(2) 知的活動分野 (Head)

学習、芸術文化、研究開発、就労等の分野

(3) 社会奉仕活動分野 (Heart)

福祉、ボランティア、地域活動、国際貢献等の分野
兵庫県内の個人・団体又は兵庫県にゆかりのある個人・団体

○選考方法

県、市町、関係団体等からの推薦に基づき、選考委員会の審査を得て、理事長が決定する。

○受賞者数

1年間の受賞者数は、各分野毎に2件以内
賞状及び副賞1件につき50万円以内を贈呈。受賞者の栄誉を称え、贈呈式を行う。

【事業内容】

第4回畑崎記念ファッションナブルエージング賞表彰式
平成29年3月予定

以上